

Cente Technical Information

発行番号	001-0035	Rev	第1版	発行日	2011/12/09
題名	ARPキャッシュが設定された時間より10%長く保持されてしまう				
情報分類	障害情報				
適用製品	<ul style="list-style-type: none">•Cente TCP/IPv4 Ver.1.00 - Ver.1.32•Cente TCP/IPv4 SNMPv2 Ver.1.00 - Ver.2.12•Cente TCP/IPv4 SNMPv3 Ver.2.00 - Ver.2.12•Cente IPv6 Ver.1.00 - Ver.1.42•Cente IPv6 SNMPv2 Ver.1.00 - Ver.2.12•Cente IPv6 SNMPv3 Ver.2.00 - Ver.2.12				
関連資料	なし				
<p>【該当するユーザ環境】 適用製品を使用している全てのユーザ。</p> <p>【障害内容】 MACアドレスとIPアドレスのペアを記録するARPキャッシュは、プロトコルスタック内で一定時間保持しています。その時間は#defineで指定でき、デフォルトでは5分が定義されています。しかし、実際には定義された時間より10%長い時間保持していました。定義が5分=300秒の場合、5分30秒=330秒ほどARPキャッシュが保持されます。ただし、10%長く保持されること他には影響がないため、一般的なTCP/IP通信において通信ができなくなるなどの問題が発生することはありません。</p> <p>【発生理由】 ARPキャッシュのタイムアウトを監視する周期起動関数は、「前回起床してから1秒経過したらARPキャッシュの残り時間を1秒減らす」よう実装されています。ここで、経過時間の評価部分に不具合があり、実際には、「前回起床してから1.1秒経過したら」となっていました。そのため、実際の経過時間とARPキャッシュの残り時間が常に10%ずれている状態になっていました。</p> <p>【回避方法】 ・ソースコードを修正し、ずれがなくなるよう修正する。 (変更箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>					